MEMORY STRUCTURE

Patent Number:

JP1117580

Publication date:

1989-05-10

Inventor(s):

WATABE HIROYUKI

Applicant(s)::

OLYMPUS OPTICAL CO LTD

Requested Patent:

☐ JP1117580

Application Number: JP19870275447 19871030

Priority Number(s):

IPC Classification:

H04N5/907; G03B17/18; G06K19/00

EC Classification:

Equivalents:

JP2683349B2

Abstract

PURPOSE:To confirm the residual amount of a storage area not stored directly externally or a storage state even when the memory is not loaded to the device main body by providing a display means to display the final storage address of the newest storage information written in its own storage section. CONSTITUTION: When a card memory 3 is removed from an electronic still camera main body 1, power is supplied from a built-in battery E via a resistor R4 to a main memory 30, an address counter 41 and an address memory 42. When it is required to confirm visually the final write number, a switch 40 is turned on. Then the final address storage information stored in the address memory 42 is subject to access control by an access controller 43 and read. The final address storage information to be read is decoded and converted into a decimal number by the decoder 44 and displayed on an LED display device 45.

Data supplied from the esp@cenet database - 12

卵日本国特許庁(IP)

⑩特許出願公開

⑩ 公 開 特 許 公 報 (A) 平1-117580

@Int.Cl.4

識別記号

庁内整理番号

砂公開 平成1年(1989)5月10日

H 04 N 5/907 G 03 B 17/18 G 06 K 19/00

B-6957-5C Z-6920-2H J-6711-5B

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

❷発明の名称

メモリ横体

②特 願 昭62~275447

22出 昭62(1987)10月30日

⑫発 明 者 渡 部

之

東京都渋谷区幡ケ谷2丁目43番2号 オリンパス光学工業

株式会社内

頭 オリンパス光学工業株 の出

東京都渋谷区幡ケ谷2丁目43番2号

式会社

20代 理 人 弁理士 坪 井 淳 外2名

1. 発明の名称

メモリ掛体

2. 特許請求の範囲

自己の記憶部に普込まれた最新被記憶情報の 最終格納アドレスを表示するための表示手段を頒 えてなることを特徴とするメモリ桐体。

3. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

本発明は、例えば電子スチルカメラ等の被記憶 情報(例えば甌像情報)に対応する信号(例えば ビデオ信号)を生成する装置本体に対して着脱自 在に装塡され、当該被記憶情報を自己の記憶エリ ア内に記憶可能であって、特に所謂カードメモリ ぞの固体メモリ 装置として異現されることにより 顕著な特徴を発揮するメモリ構体に関する。

[従来の技術]

近年、穏々の彼紀慷情報をディジタルデータの 態様で自己の記憶エリア内に記憶する所謂電子メ モリカードのようなメモリ機体の開発が進展して いる。この種のメモリ楊体では、通常外部から遊 接的に記憶内容を視認することが困難である点で、 使用上不便を生じることがある。この点を改善す べく、当該端末袋置等に袋填されたときに、自己 の表示部に記憶内容が表示され得るようになされ た電子メモリカードが既に進案されている(例え ば、特開昭58-159194号公報)。

一方、電子スチルカメラのような画像情報を生 収する装置や、その他の被記憶情報たるデータを 生成乃至は加工するシステム本体に、上述したメ モリ 構体を適用して情報の記憶(記録)を行なう ようにした技術も進められている。この場合も当 然のことながらメモリ構体内の記憶エリアにおけ る既記録状況あるいは残り容量を確認したいとい う要望がある。

[発明が解決しようとする問題点]

上記後者の場合において用いられるメモリ構体 においては、装置本体に装填した状態においては 勿論、装填しない状態においても当故メモリ構体 内の記版エリアにおける既記録状況あるいは幾り

容量等を、視覚的に確認できると大変便利である。 しかしながら従来の電子メモリカードにはそのよ うな技術的手段は嫌じておらず使用上の便益に欠 けるという問題があった。

本発明はこのような事情を考慮して為されたものであり、その目的とするところは、装置本体に設填しない状況でも既記憶状況あるいは未記憶エリアの残量等を、外部から直接視認可能で記憶容型の使い残しによる無駄を無くし得、利用効率を高め得る上、使用上の便益性を飛躍的に向上し得るメモリ禍体を提供することにある。

[問題点を解決する為の手段]

本苑明は上記問題点を解決し目的を達成するために次のような手段を謎じた。即ち、自己の記憶部に普込まれた最新被記憶情報の最終格納アドレスを表示するための表示手段を備えるようにした。 [作用]

このような手段を講じたことにより、次のような作用を呈する。自己の記憶部に書込まれた最新被記憶情報の最終的に格納されたアドレスが、表

ムの短いスタティックRAMを主体として構成されている。矩形状をなすカードメモリ3の一側線(図中左側線)には前記電子スチルカメラ本体1に装填した際、同本体1から電源Vcc、データ信号(DO乃至D1)、アドレス信号(AO乃至A14)等を入力するための端子11、12、13を備えた端子群10が設けられている。またカードメモリ3の内部には上記端子群10と電気的な接続が図られた電源部20、メインメモリ30と共に、前記表示手及4が設けられている。

電源部20は、ON-OFF割御用のNPN形トランジスタQ1,スイッチッング用PNP形 抵電ンジスタQ2,内蔵電池E,コンデンサC,抵電電子R1~R4等で構成されている。なお内地では近限4を介して充放電可能な20は電子にはたり本体1から電源のQ2がON動作とスペッチッング用トランジスタQ2を介してメンメモリ30、表示手段4の一部に電力を供給するも

示手段により表示されるので、たとえ、装置本体に 袋切されない状態であってもメモリ機体の記憶部 における既記近状況または未記憶エリア(疑り容 益)を視覚的に直接確認することが可能となる。

[实施例]

第2図は上記カードメモリ3 の異体的構成を示す図である。このカードメモリ3 はアクセスタイ

のとなっている。また電子スチルカメラ本体1から電源Vccの供給を受けない時には、すなわちカードメモリ3を電子スチルカメラ本体1から取り外したときには、内蔵電池Eからメインメモリ30および表示手段4に対して電力を供給するものとなっている。

自己の記憶部としてのメインメモリ 30は、前記 電 V c c または内蔵電池 E の電力供給を受けて 動作し、電子スチルカメラ本体 L からの画像情報 すなわち前記データ信号 D 0 ~ D 7 とアドレス信号 A 0 ~ A 14を入力して特定の記憶領域に画像データを格納するものとなっている。

表示手段4 は押卸スイッチ40、アドレスカウンタ41、アドレスメモリ42、アクセスコントローラ43、デコーダ44、LED表示器45等で構成されている。アドレスカウンタ41は電子スチルカメラ本体1 からアドレス信号(A0乃至A14)を入力し、メインメモリ30に審込まれた最新の抜記値情報の最終格納アドレスをカウントするものとなっている。アドレスメモリ42は前記アドレスカウンタ41

のアドレスカウント値(最後の番地)を記憶領域に格納するものとなっている。アクセスコントローラ 48はアドレスメモリ 42をアクセス制御し、アドレスメモリ 42に格納されている 最終格納アドレス情報を発出してデコーダ 44に出力させるものとなっている。デコーダ 44は 2 進ディジタル信号からなる 町記 最終格納アドレス 記 優 情報を 1 0 遊数に解 統変換して L E D 表示器 45に出力するものとなっている。

次にこのように構成された本実施例のカード3 でリ2の作用を説明する。先ず、カードメを担にない、先がないでは、大力メラ本体1に弦びVでは、が低給されいでは、トランジスクQ1が0か動作する。これに伴いトランジスクQ2が0か助作する。そのにはスイッチャッング用のトラスなによるによインメモリ30、アドレスメモリ42に供給される。なびでは、アドレスメモリ42に供給される。なびでは、アドレスメモリ42に供給される。なびでは、方のとき内蔵塩池EはトランジスクQ2 および受け、前記電級Vccの電力供給を受ける。

外されると、位子スチルカメラ本体」からの電源 V c c が断たれるので、トランジスタQ1 . Q2 はともにOFF状態となる。そうすると、それま で充電状態にあった内蔵構池をから、抵抗R4を 介してメインメモリ30、アドレスカウンタ41、ア ドレスメモリ 42に 甩力が供給される。ここで 告込 み最終枚数を規数的に確認する必要が生じたとき には、スイッチ40をオンにする。そうすると、前 記内蔵電池Eから抵抗R4、スイッチ40を介して アクセスコントローラ43、デコーダ44、LED表 示器 45に 魅力が供給される。このためアドレスメ モリ42に格納されている最終アドレス記憶情報は、 アクセスコントローラ 43によりアクセス 制御され て読出される。読出された最終アドレス記憶情 報はデコーダ44より10進数に解銃変換されて LED表示器 45により表示される。なお前述した ようにアドレスメモリ42に最終アドレス(最後の 番地) 800 が 在込まれている場合には、 LED 表 示器45には6が表示される。従って、画像フレー ム10枚中の6枚が既に番込まれ、未記憶エリアす

け、充電状想となる。

次にこのカードメモリ3を電子スチルカメラ本体1から取外し、上述した香込み面像枚数を規覚的に確認する場合の作用について説明する。先ずカードメモリ3が電子スチルカメラ本体1から取

なわち競り 画像フレーム 枚数は4 枚であることがカードメモリ単体の状態で視覚的に確認することができる。

このように本実施例によれば、最後に書込まれた最新被記憶情報のアドレスがアドレスカウンタ41で検知され、アドレスメモリ42に記憶情報として書込まれる。そしてカードメモリ3を電子ステルカメラ本体1から取り外した状態においてロールッチ40をON動作すると、アクセスコントロールが記アドレスメモリ42に格納されている最終アドレス記憶情報が読出され、デコーダ44により解読されてLED表示容45により表示される。

従って、カードメモリ3の記憶部すなわちメインメモリ30における既記憶枚数すなわち画像フレーム枚数乃至未記憶枚数(疑り容量)を、視覚的に確認することができる。このため記憶容量の使い残しによる無駄をなくし、カードメモリ3の利用効率を高め得る。また電子スチルカメラ本体!に袋塩されない状態で上記確認を随時行えるので、

使用上の便益性が飛躍的に向上する。

[発明の効果]

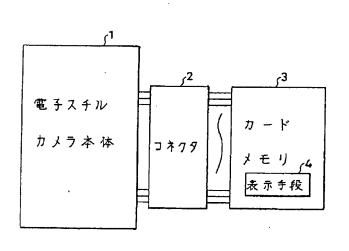
本勢明によれば、自己の記憶部に書込まれた最新の被記憶情報の最終格納アドレスを表示するための表示手段を留えるようにしたので、装置本体に装填しない状態でも既記憶状況あるいは未記憶エリアの残量等を、外部から直接視認することができる。このように実用上多大なる効果を奏するメモリ褓体を提供することができる。

4. 図面の簡単な説明。

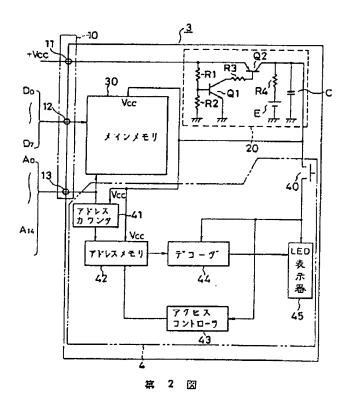
第1 図は本発明を選子スチルカメラに適用した一実施例の概要を示す図で、第2 図は間実施例のカードメモリ3 の具体的構成を示す図である。

1 … 電子スチルカメラ本体、2 … コネクタ、8 … カードメモリ、4 … 表示手段、10… 端子群、20… 退顧部、80… メインメモリ、40… 押釦スイッチ、41… アドレスカウンタ、42… アドレスメモリ、43… アクセスコントローラ、44… デコーダ、45… L E D 表示器。

出願人代理人 弁理士 坪井 淳



第 1 図



【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載 【部門区分】第7部門第3区分 【発行日】平成7年(1995)12月22日

【公開番号】特開平1-117580 [公開日] 平成1年(1989) 5月10日 【年通号数】公開特許公報1-1176 [出願番号] 特願昭62-275447 【国際特許分類第6版】 HO4N 5/907

GO6K 19/07

B 7734-5C

[FI]

GO6K 19/00

J 9458-5L

手統補正會

平成6年10月31日

特許庁長官 高島 章 政

1. 事件の表示 昭初82年特許顯第275447号

2. 発明の名称 メモリ機体

3、 補正をする者

要件との関係 特許出顧人 〒 151 東京都設谷区帰ヶ谷 2丁目 4 3 番 2 号 (431) オリンパス光学工業株式会社 代表者 岸本正霉

4. 補正命令の日付 (自発)

5. 補正により増加する発明の数

6. 補正の対象 明和春

7. 補正の内容 別紙の通り (1) 明細書の特許請求の範囲を別紙の通り補正する。

(2) 明細書、第8頁、第14行~第16行の「鄭ち、自己の~僧えるようにし た。」を、

「即ち、被記憶情報たる副像データを順次所定のアドレスが割り当てられた領 域に格納し得るようになされたメモリ媒体 (3) であって、最新被配憶情報 のデータが既に格納された是終格納アドレスが書き込まれ保持されるように なされた最終格納アドレス保持手段(41.42)と、この最終格納アドレ ス保持手段に保持されたアドレス値を放アドレス値に相応する画像の枚数値 に変換するためのデコード手段(4.4)と、このデコード手段による変換値 を表示するための表示手段(4.6)と、この表示手段を動作させるため本メ モリ構体内に設けられた電源手段(20)と、当該操作に応動してこの電源 手段から上記表示手段に対して給電し表示動作をさせるためのスイッチ手段 (40) と、を備えるようにした。」

と訂正する。

(3) 岡書、第3頁、第19行の「自己の紀憶部に書込まれた」を、 「自己の最終格納アドレス保持手段に保持された」 と訂正する。

(4) 同答、第3頁、末行の「最終的に格納されたアドレスが、」を、 「最終的に最終格納アドレス保持手段に保持されたアドレス値に相応する画像 の枚数が、」

と訂正する。

一補35--

特許領求の範囲

被記憶情報たる面像データを脳次所定のアドレスが割り当てられた領域に独納 し得るようになされたメモリ標体であって、最新核配復情報のデータが既に独納 された最終格納アドレスが審合込まれ保持されるようになされた最終格納アドレ ス保持手段と、この最終格納アドレス保持手段に保持されたアドレス値を数アド レス値に相応する画像の放散値に変換するためのデコード手段と、このデコード 手段による変換値を表示するための表示手段と、この表示手段を動作させるため 本メモリ標体内に設けられた電源手段と、当放操作に応動してこの電源手段から 上記表示手段に対して給電し表示動作をさせるためのスイッチ手段と、を備えて なることを特徴とするメモリ構体。

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☑ BLACK BORDERS	•
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES	
☐ FADED TEXT OR DRAWING	
☑ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING	
SKEWED/SLANTED IMAGES	
COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS	
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS	7
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT	
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE PO	OOR QUALITY
OTHER:	

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.